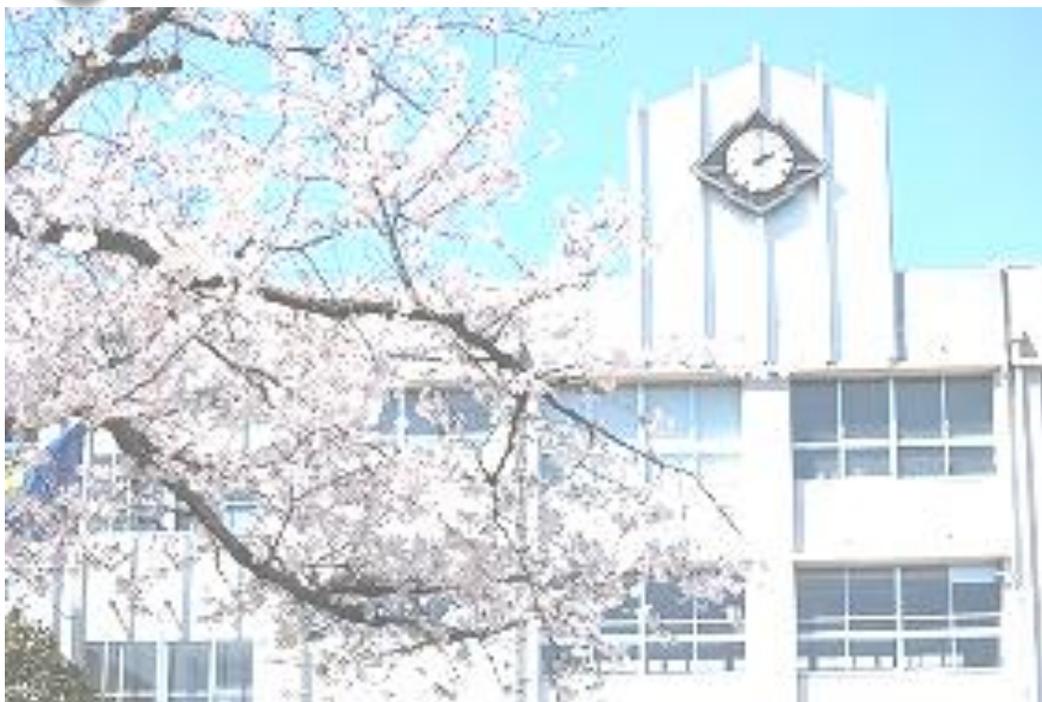


# 令和2年度教育課程研究指定校事業(地理歴史科)



歴史領域科目，地理領域科目について，社会的事象の「歴史的な見方・考え方」や，「地理的な見方・考え方」を働かせ，「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業実践の研究



徳島県立脇町高等学校

## I 本校の概要

- 1 本校の紹介
- 2 これまでの流れ

## II 本校における教育課程研究指定校事業

- 1 研究テーマ及び研究仮説
- 2 1期目(2年間の成果と課題)
- 3 今年度(第2期1年目)の取組
  - (1)「歴史総合」に向けた取組
  - (2)「地理総合」に向けた取組

## III 課題と今後の取組



# I 本校の概要



## 本校の紹介

- 創立 1896年
- 所在 徳島県美馬市  
(西部の中山間地域)
- 特徴 県西部の進学校  
SSH指定校
- 生徒数 554名 | 学年:5クラス

※現在第3期1年目

卒業生23,000名以上  
※令和2年4月1日時点



# I 本校の概要



## これまでの流れ

### 本校の課題

- 生徒数減 クラス数減 教員数減
- 近隣に大学等の研究機関がない(地理的弱点)
- 交通の便が悪い
- 将来予測が難しい社会に対応できる生徒の育成



スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業  
教育課程研究指定校(地理歴史)事業

### SSH事業(H22~)

(身に付けさせたい能力・態度を整理し、  
教師・生徒が共有した授業改善)

### 【協働的問題解決学習】

相乗的効果を期待



### 教育課程研究指定校事業(H30~)

(科目相互の連携を図った授業改善と  
「問い」を重視した評価)

### 【主体的・対話的で深い学び】

## I 本校の概要

- 1 本校の紹介
- 2 これまでの流れ

## II 本校における教育課程研究指定校事業

- 1 研究テーマ及び研究仮説
- 2 1期目(2年間)の成果と課題
- 3 今年度(第2期1年目)の取組
  - (1)「歴史総合」に向けた取組
  - (2)「地理総合」に向けた取組

## III 課題と今後の取組



# 1. 研究テーマ及び研究仮説



## 研究テーマ

「歴史総合」「地理総合」を見据えた  
地理歴史科の  
科目相互の連携を図った授業改善と  
「問い」を重視した評価の研究

## 研究仮説

### 【仮説①】

授業における科目相互の連携を図る

→学習意欲を高めることができ、学んだことと  
社会との接続に向けた意識を高めることが  
できるのではないか

### 【仮説②】

「問い」を重視した授業や考査問題の改善を図る

→教員間の地理的・歴史的な「見方・考え方」  
の認識共有を図ることで、効果的な生徒の  
思考力等の育成につながるのではないか

## 2. 1期目(2年間)の成果と課題



### ○成果(歴史)

・現代の諸課題を意識し、生徒に身近な校誌や地元資料を用いての教材開発

・生徒の歴史を学ぶ意識の変容  
(生徒アンケートより)

「歴史から学び、自ら考え、判断することが自分たちの生活において大切だ」

「入試の有無ではなく、学んだことを将来に活かすことが大切だ」

### ○成果(地理)

・中学校との連携による、中学校と高校の接続を意識した教材開発

・地理と歴史を融合した教材の開発

・教科横断型授業を取り入れた授業実践  
(化学・物理・家庭科)

・生徒の地理を学ぶ意識の変容  
(生徒アンケートより)

「地理は暗記科目ではなく、今起きている、これから起こる問題の解決に役立たせることができる」

### ○成果(全体)

年間を通じた、週1回以上の教科会の実施

協同で単元構想や授業案作成、テスト問題の作成分析を行うことで、どのような生徒を育てたいかという教員間の意識統一が図られていた。



・全生徒に地理的・歴史的な「見方・考え方」を働かせることについて意識付け  
・生徒たちが授業のねらいを理解して主体的に学ぶことができた

### ○課題

・評価規準の在り方

(学習改善につなげる評価・評定に用いる評価)

例) 考査問題の記述部分の評価

・コンピテンシーベースの科目相互の連携

・事前学習(宿題・予習など)の重要性

# 3.今年度の取組



- ・アンケート結果を反映させた授業改善
- ・「単元を貫く問い」を明示し、単元全体で「現代の諸課題」を思考する授業を実践  
⇒各時間の目標を提示し、その積み重ねによって単元の学習を理解できる単元構想を設定した
- ・指導と評価の一体化をさせた単元構想

# 3.今年度の取組



## (1) 「歴史総合」に向けた取組



文部科学省と県教委との研究協議会



「歴史総合」を見据えた授業実践

# 本校地理歴史科の育てたい生徒像



## 【全体】

- ・現在そして将来を力強く生きる力の育成

## 【歴史】

- ・歴史的な見方・考え方を働かせて物事を捉えることができる生徒
- ・歴史で学習したことを活用して、現代の諸課題について思考・判断・表現できる生徒
- ・地理的な見方・考え方を取り入れて歴史的事象について捉えることができる生徒

## 【地理】

- ・地理的な見方・考え方を働かせて物事を捉えることができる生徒
- ・地理的な視点から、現代の諸課題について思考・判断・表現できる生徒
- ・歴史的な見方・考え方を取り入れて地理的事象について捉えることができる生徒

# 生徒アンケート(3年歴史・5月)



1 よくあてはまる

2 あてはまる

3 あまりあてはまらない

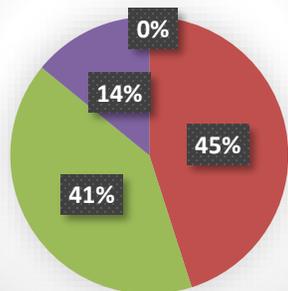
4 あてはまらない

資料やグラフデータの読み取りは好き(得意)ですか?

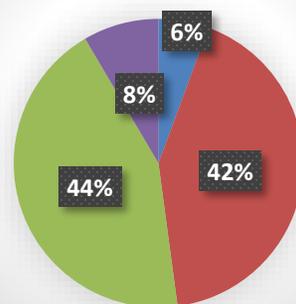
地理的な視点で歴史を見たり考えたりすることを意識していますか?

地理的・歴史的な観点から、現代社会の諸課題について考えたことがありますか?

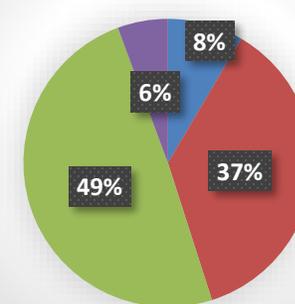
3年日本史



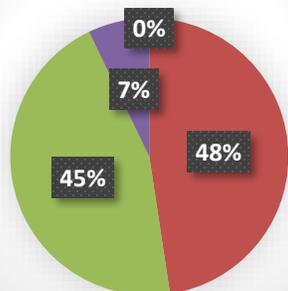
3年日本史



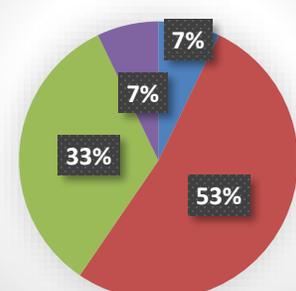
3年日本史



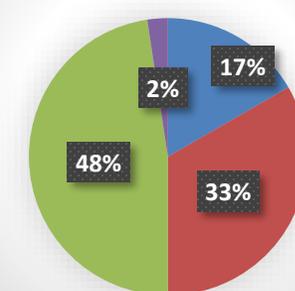
3年世界史



3年世界史



3年世界史



# 生徒アンケート(2年歴史・5月)



1 よくあてはまる

2 あてはまる

3 あまりあてはまらない

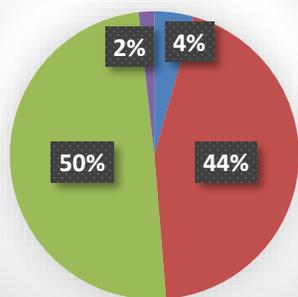
4 あてはまらない

資料やグラフデータの読み取りは好き(得意)ですか?

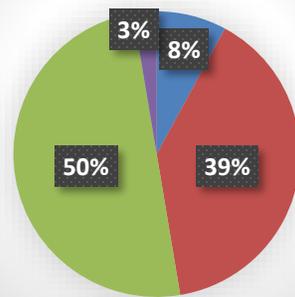
地理的な視点で歴史を見たり考えたりすることを意識していますか?

地理的・歴史的な観点から、現代社会の諸課題について考えたことがありますか?

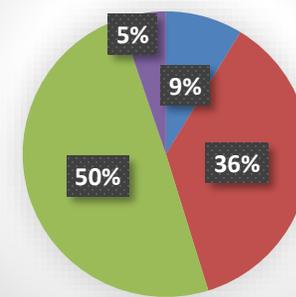
2年日本史



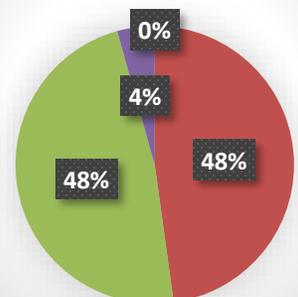
2年日本史



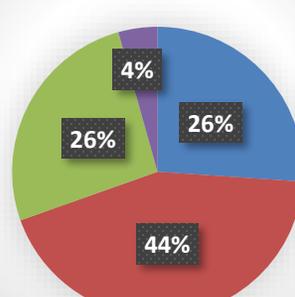
2年日本史



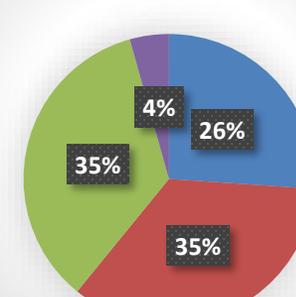
2年世界史



2年世界史



2年世界史



# 生徒アンケート(歴史・5月)



## 分析結果

- ・読み取りへの苦手意識
- ・地理的な視点が意識できていない
- ・授業と現代の諸課題が結びついていない

### 地理歴史科生徒アンケート

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
クラス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

《回答上の注意》  
 1. 正しく速くマークしてください  
 2. 間違えたと気付いたら消しゴムで消さないでください

以下の質問に、よくあてはまる：① あてはまる：② あまりあてはまらない：③ あてはまらない：④  
 の4段階で答えてください。

問題番号	問題文	回答欄
Q 1	図表やグラフ、データの読み取りは好き(得意)ですか? くそ思った理由を書いてください グラフ、インターネット利用が苦手	① ② ● ④
Q 2	(歴史選択者へ) 歴史的な視点で歴史を思いやり考えたりすることを意識していますか?	① ② ● ④
Q 3	(地理選択者へ) 歴史的な視点で歴史を思いやり考えたりすることを意識していますか?	① ② ③ ④
Q 4	地理的・歴史的な観点から、現代社会の問題について考えたことがありますか?	① ● ③ ④
Q 5	選択した科目は授業後に立つと困りますか?	① ● ③ ④
Q 6	現時点での選択科目の興味関心はどの程度ですか? *この質問のみ 1 (高い) ← → (低い) 4 高い ← → 低い	① ② ● ④
Q 7	(3年生のみ) 2年生をふりかえって主体的で対話的な学びができましたか?	① ② ③ ④
Q 8	(3年生のみ) 2年生をふりかえって、地理的・歴史的な技能が身に付いたと思いますか?	① ② ③ ④

※生徒の実態やアンケート結果を踏まえ授業改善，単元構想へ

# (1)「歴史総合」に向けた取組



- ①育てたい生徒像
- ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告
  - (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」
    - ・単元構想(5時間相当)
    - ・オンラインによる第1時の研究授業(高校3年生の「世界史A」にて実施)
    - ・第2～5時の実践
  - (2)大項目B「近代化と私たち」 中項目(2)「結び付く世界と日本の開国」
    - ※昨年度の内容を見直して実践
    - ・単元構想(5テーマ10時間相当)の単元構想
    - ・校内での第4時の公開授業(高校3年生の「世界史A」にて実施)
- ③本年度の取組の特徴
- ④考査問題についての課題と改善
- ⑤評価についての課題

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

#### ・単元構想(5時間相当)

小単元	主要概念(SQ)	歴史的な見方・考え方
A歴史の扉 (1)歴史と私たち 小単元のMQ 「19世紀末から徳島にはどういう変化が起こったのか。それはなぜか。」	SQ「「問い」への「答え」を導くのに必要なのは、どのような資料か」	19世紀末を境に変化する藍産業の推移  藍産業の推移に関する世界や日本の産業革命＝国や地域をまたぐ事象相互のつながり
	SQ「他者が述べる「答え」を比較しよう」	
	SQ「資料に触れよう」	
	SQ「情報を共有しよう」	
SQ「「問い」に対するあなたの「答え」を出そう」		

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

#### ・単元構想(5時間相当)

#### 学習指導案より一部抜粋

#### 7 単元の目標

- ・19世紀末から徳島の藍産業の発展や地域の状況の変容について、日本や世界の変化と結び付いていることを理解する。
- ・自身の課題を踏まえ、必要な資料を収集、選択し、読み取った内容をまとめる。
- ・19世紀末からの徳島の藍産業や物流の仕組みの変化に着目して、徳島の歴史と日本及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。
- ・徳島の事例を基に、地域と日本や世界の歴史の関連性について振り返り、次の学習とのつながりを見出そうとする。

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」について

・単元構想(5時間相当)

学習指導案より一部抜粋

#### 9 単元の評価規準【新課程】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・自身の課題を踏まえ、必要な資料を収集、選択し、読み取った内容をまとめている。</li><li>・19世紀末からの徳島の藍産業の発展や地域の状況の変容について、日本や世界の変化と結び付いていることを理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・19世紀末からの徳島の藍産業や物流の仕組みの変化に着目し、徳島の歴史と日本及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・徳島の事例を基に、地域と日本や世界の歴史の関連性について振り返り、次の学習とのつながりを見出そうとしている。</li></ul>

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

・単元構想(5時間相当)

学習指導案より一部抜粋

#### 9 単元の評価規準【現行課程】

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・技能
・徳島の事例を基に、地域と日本や世界の歴史の関連性について振り返り、次の学習とのつながりを見出そうとしている。	・19世紀末からの徳島の藍産業や物流の仕組みの変化に着目し、徳島の歴史と日本及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。	・自身の課題を踏まえ、必要な資料を収集、選択し、読み取った内容をまとめている。	・19世紀末からの徳島の藍産業の発展や地域の状況の変容について、日本や世界の変化と結び付いていることを理解している。



**【基軸となる問い】 19世紀末から徳島にはどういう変化が起こったのか。それはなぜか。**

時程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
<b>【本時の問い】 「問い」への「答え」を導くのに必要なのは、どのような資料か</b>						
第一時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史=当時の人びとの生きた証」であることを意識する。</li> <li>・身近な歴史である「徳島の繁栄とその後の変化」について、古地図をもとに読み取る。</li> <li>・【基軸となる問い】の「答え」を導くために、どのような資料が必要になるかを考察する。</li> </ul>					<p>(評価資料): ホワイトボード, 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●古地図から物流の仕組みに関係がありそうなものを読み取っている。</li> <li>●既習の知識や柔軟な発想から「答え」を導くのに必要な資料とはどのようなものかを考察し、ホワイトボードに記入している。</li> </ul>

時程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
<b>【本時の問い】 他者が述べる「答え」を比較しよう</b>		<b>（評価資料）：ワークシート，発表</b>				
第二時	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の2年生のレポートから，扱う資料によって「答え」に違いが生じることを読み取る。</li> </ul>			●		<ul style="list-style-type: none"> <li>同世代の生徒がまとめたレポートの内容やまとめ方と，前時で自分が着目した点との違いを読み取っている。</li> </ul>
<b>【本時の問い】 資料に触れよう</b>		<b>（評価資料）：ワークシート，レポート</b>				
第三時	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一時の活動で出された意見をもとにグループを編成する。調べるテーマについてまずは個人で資料を探し，読解する。</li> <li>必要だと思われる資料を取捨選択して読み取った内容をワークシートにまとめ，さらに400字程度のレポートを作成する。</li> </ul>		●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の必要とする資料を探し，その内容を読み取っている。</li> <li>読み取った内容をワークシートにまとめ，レポートを作成している。</li> </ul>

時程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
<b>【本時の問い】 情報を共有しよう</b>		<b>(評価資料): レポート</b>				
第四時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ間で各自のレポートを比較し、内容の差異を確認した上でグループとしてのレポートを作成する。</li> </ul>	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>●他者のレポートの内容との差異を確認する中で、自分の学習を振り返り、レポートをよりよく作成しようとしている。</li> <li>●同じテーマで調べてもレポートの内容が異なることを体験的に学んだ上で、さらに深化したレポートを作成している。</li> </ul>
<b>【本時の問い】 「問い」への「答え」を出そう</b>		<b>(評価資料): レポート</b>				
第五時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループがまとめたレポートを全て合わせて、【基軸となる問い】の「答え」を各自が見出し最終レポートを作成する。</li> <li>・単元の学習を振り返り、今後の歴史の学習にどのように生かしてしていくのかということについてまとめる。</li> </ul>	●	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○19世紀末からの徳島の藍産業や物流の仕組みの変化をもとに、徳島の歴史と日本さらに世界の歴史との関連性について考察し表現している。</li> <li>○19世紀末からの徳島の藍産業の発展や地域の状況の変容について、日本や世界の変化と結び付いていることを理解している。</li> <li>●徳島の事例を基に、地域と日本や世界の歴史の関連性について振り返り、次の学習とのつながりを見出そうとしている。</li> </ul>

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

#### ・オンラインによる第1時の研究授業(高校3年生の「世界史A」にて実施)

授業スライドより抜粋①

**地理歴史科 研究授業**

— **歴史の扉を開けよう** —

令和2年9月24日 徳島県立脇町高等学校

**史資料**  
史料…文字の資料(古文書など)  
資料…写真, 絵, グラフなどいろいろ

- ・ 当時を知る
- ・ なぜそうなったのかを考える

↓

**当時の人たちの生き様を学び、  
今のあなたの暮らしにつなげて考える**

古地図の中の  
**地理的な視点 歴史的な視点**  
を意識しながら  
「物流の形跡」に関係ありそうなものを見つけよう

**目標タイム6分**

各グループで出てきた意見をホワイトボードにまとめ、全体で共有しよう

17世紀の物流の良さ, 19世紀末の人口の多さなど, 当時の史資料には「徳島の繁栄の証」が見られますね  
では、今は?

問い

**①19世紀末から  
徳島にはどういう変化が起こったのか**

**②徳島が変化したのはなぜか**

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

#### ・オンラインによる第1時の研究授業(高校3年生の「世界史A」にて実施)

授業スライドより抜粋②

①19世紀末から  
徳島にはどのような変化が起こったのか

②徳島が変化したのはなぜか

に対する自分の答えを出すためには、どのような  
史資料を見つける必要があると考えますか？

江戸時代の古地図から読み取った

**物流の仕組み** や **藍** を手がかりに、

日本や世界と徳島の関係について分かる史資料

自然環境, 産業(特産品), 科学技術, 政治・経済,  
国家体制, 人びとの気質, 外国との交易, 戦争...

多様な史資料の中から「当時の徳島に関わるもの」を  
探そう(連想して考えていくとよい)

複数の条件をつなげることで  
⇒「問い」への「答え」を探そう!

個人ホワイトボード

左面(赤字)

右面(青字)

徳島の変化を探るには  
何を調べたらよいか  
(徳島に着目)

徳島の変化の背景として  
どんなことが影響して  
いるか(広い視点で)

「変化」と「変化をもたらすもの(影響)」  
を結びつけて考えてみよう

皆さんから出てきそうな着眼点

- ①・徳島の人口の推移  
・徳島の産業の生産状況や輸送状況  
について(藍, それ以外)
- ②・貿易の品や輸出入の額について  
・世界や日本の産業革命の影響  
(殖産興業、交通の変化、外国との関係など)

に関係しそうな史資料の一部を提示します

配布資料参照

**【基軸となる問い】 19世紀末から徳島にはどういう変化が起こったのか。それはなぜか。**

数の変化  
人口  
収支額  
生産品

幕末の戦乱  
費用  
治安

海外との貿易で  
日本の物より安い  
海外の物を取り寄  
せた。

藍のよりが農作物  
の衰退  
19世紀に最も必  
要としていたものを  
徳島はもっていたため

3

戦争の影響により  
重工業中心の社会  
になった。  
徳島の藍の需要が  
減少。  
外国からの衣  
服の輸入  
化学染料の発展。

1班王

○徳島の  
藍の生産量の  
年代別データ

○徳島→都 流出  
を示すデータ

○日記や文化

○商品作物の  
価値が下がった

○開国してカウエ  
されたものが入る  
→染色必要なし

○税をお金を  
払うようになった

**生徒の思考**

**赤字: 徳島の変化を探るには  
何を調べたらよいか  
(徳島に着目)**

**青字: 徳島の変化の背景として  
どんなことが影響しているか  
(広い視点で)**

藍の需要の低下

4

→化学技術の発展で大量生産が  
可能になった。

戦争や労働者の推移

→人口が流出したり、減少し、  
人手が足りなくなった。

2班王

藍の生産量  
の変化

人口が減少  
した時期の  
できごと

貿易相手

開国の影響  
→布製品の変化、  
文化の西洋化

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

- ・オンラインによる第1時の研究授業(高校3年生の「世界史A」にて実施)



単元の目標の確認



タブレットを使ったデジタルデータの読み取り



地理教員との科目横断



グループ内での意見発表

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

#### ・第2～5時の実践

小単元	主要概念(SQ)	歴史的な見方・考え方
A歴史の扉 (1)歴史と私たち 小単元のMQ 「19世紀末から徳島にはどうい う変化が起 こったのか。それはな ぜか。」	SQ「「問い」への「答え」を導くのに必要なのは、どのような資料か」	19世紀末を境に変化する 藍産業の推移  藍産業の推移に関する 世界や日本の産業革命 ＝国や地域をまたぐ事象 相互のつながり
	SQ「他者が述べる「答え」を比較しよう」	
	SQ「資料に触れよう」	
	SQ「情報を共有しよう」	
	SQ「「問い」に対するあなたの「答え」を出そう」	

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (1)大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」

#### ・第2～5時の実践

#### 課題研究テーマ役割分担

#### 1. 江戸～明治前半の徳島の「藍」の資料

A 江戸時代, 誰が何のために藍をつくらせたのか?

B 徳島(の一部のみ?)ではなぜ藍づくりが可能なのか?

C 藍はどのようにどこへ運ばれたのか?

#### 2. 各地で産業革命や貿易拡大が起こる明治時代後半(19世紀頃)

日本や世界と徳島の関係についての資料

A 明治時代, 藍をめぐる徳島のライバルが出現!?

B 明治時代, 物流の仕組みが変わる?

# 生徒の活動： 学校の図書室で資料を探してレポートを作成する



校内の図書だけでなく、  
徳島県立図書館蔵書の図書等も  
取り寄せ、約50冊の図書が活用  
できた



## 1C 藍はどのようにどこへ運ばれたのか？ ↓

整	の	流	通	の	大	ま	か	な	流	れ	は	徳	島	か	ら	大	阪	ま	で	船	で	海	を		
渡	り	、	大	阪	内	の	川	を	使	っ	て	行	か	れ	て	い	た	。	13	34	年	、	14	45	
年	の	京	都	の	東	寺	に	あ	る	記	録	や	兵	庫	北	関	人	船	納	帳	に	書	か	れ	
て	あ	り	、	「	阿	波	か	ら	藍	が	畿	内	に	向	け	て	大	量	に	出	荷	さ	れ	て	
い	る	」	と	い	う	ニ	と	か	ら	、	ニ	の	根	拠	に	近	畿	地	方	に	は	多	く	阿	
波	藍	を	出	荷	、	流	通	さ	せ	て	い	た	ニ	と	か	あ	る	。	16	61	～	16	70	年	
は	は	近	畿	地	方	だ	け	で	な	く	江	戸	に	も	出	荷	し	て	い	る	記	録	も	あ	
り	、	全	国	的	に	藍	を	出	荷	、	流	通	さ	せ	規	模	を	大	き	く	し	発	展	さ	
せ	て	い	っ	た	ニ	と	か	ら	な	る	。	阿	波	藍	な	ど	の	移	出	に	出	入	し	り	
た	中	小	廻	船	は	阿	波	国	産	品	を	移	出	し	た	後	、	帰	り	荷	と	し	て	他	
国	米	・	干	貝	類	・	か	ら	し	な	ど	を	積	み	入	れ	る	な	ど	、	大	阪	・	江	戸
中	国	・	九	州	・	北	陸	・	北	海	道	に	な	り	た	が	り	物	資	集	散	の	大	基	地
が	な	っ	た	。																					
江	戸	明	代	の	経	済	は	、	水	運	に	よ	っ	て	流	通	し	て	い	た	。	全	国	津	
々	浦	々	に	阿	波	藍	を	出	荷	さ	る	に	あ	っ	た	。	大	量	に	輸	送	さ	る	に	
は	日	船	が	一	指	通	し	て	い	た	。	そ	し	て	お	も	な	輸	送	先	と	し	て	は	
商	米	の	中	心	地	で	あ	る	大	阪	で	あ	っ	た	。	徳	島	に	は	良	好	な	存	続	が
あ	り	、	大	阪	と	の	距	離	が	近	く	、	全	国	市	場	に	つ	な	り	な	る	こ	の	理
好	立	地	に	あ	っ	た	ニ	と	も	、	藍	が	発	展	し	た	一	つ	の	理	由	だ	っ	た	。

# 生徒のレポート



## 2A 明治時代, 藍をめぐる

### 徳島のライバルが出現!?! ↓

江戸時代の中期(1700年代)には、阿波藍は阿波の産物として、全国的に需要が高まっていた。明治時代に入り、阿波藍の需要はさらに高まり、藍草の作付面積は明治40年(1907年)には7542haまで減少し、わずか4年間の間に2分の1程度に落ちてしまった。その後、阿波藍は衰退の一途を辿り、昭和40年(1965年)には4ha程度まで落ち込んだ。

以上のことから、阿波藍はドイツで生まれた合成藍、インドの安価な天然藍のインド藍による2つのライバルが出現したことにより衰退していった。

## 2B 明治時代, 物流の仕組みが変わる? ↓

明治時代以降の徳島の衰退の原因の一つは、阿波藍の輸送手段が船から鉄道へと変わったことによる。明治時代は、阿波藍の輸送は船が主であった。しかし、明治維新後の鉄道敷設により、本州に続く路線が通じた。徳島の輸送手段として飛躍し始めたのは、明治36年(1903年)のピーク時には15000haあった藍草の作付面積は明治40年(1907年)には7542haまで減少し、わずか4年間の間に2分の1程度に落ちてしまった。その後、阿波藍は衰退の一途を辿り、昭和40年(1965年)には4ha程度まで落ち込んだ。

以上のことから、阿波藍はドイツで生まれた合成藍、インドの安価な天然藍のインド藍による2つのライバルが出現したことにより衰退していった。

5つの視点の各代表と  
なった生徒のレポートを  
つなげて、  
生徒各自が「問い」に  
対する「答え」となる  
最終レポートを仕上げる

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ② 「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (2)大項目B「近代化と私たち」 中項目(2)「結び付く世界と日本の開国」

#### ・単元構想（5テーマ10時間相当）の単元構想

小単元	主要概念(SQ)	現代の諸課題
B「近代化と私たち」 (2)結び付く世界と 日本の開国 小単元のMQ 「日本は世界の国々 とどうつながって いったのだろう」	①鎖国中の日本と外国の交流 SQ「鎖国中の日本は外国とどう交流していたのか」	現代の諸課題 =交流と侵略
	②18世紀までの蘭学の発達 SQ「発達した蘭学を為政者はどう扱ったか」	
	③文化の伝播 SQ「美術作品は世界にどんな影響を与えたか」	
	④産業革命の影響 *SSH校内研究授業 SQ「産業革命はイギリス・中国・インド・日本にどのような影響を与えたのだろう」	侵略 産業革命→三角貿易
	⑤日本の産業革命 SQ「日本と世界はどのようにつながっていくのか」	

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ② 「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

### (2)大項目B「近代化と私たち」 中項目(2)「結び付く世界と日本の開国」

#### ・校内での第4時の公開授業（高校3年生の「世界史A」にて実施）

授業スライドより  
抜粋①

Q1 産業革命後、イギリスの工業はどう変わった？  
次のグラフから読み取ろう

産業革命前後のイギリスの貿易品目を表すグラフ  
(著作権に配慮して省略)

Q2 このグラフからイギリスとインドの変化を読み取ろう

イギリス綿布とインド綿布に関するグラフ  
(著作権に配慮して省略)

輸出量が逆転

Q3 下の資料をもとにイギリスがアヘンを中国に密輸した理由を説明しよう

片貿易を表す図  
(著作権に配慮して省略)

中国のアヘン輸入量グラフ  
(著作権に配慮して省略)

輸入品の代金

Q4 イギリスとインド・中国それぞれの立場で産業革命の影響を考えよう

**ちょっとだけ協働的問題解決学習**

- ① 2～3人でペア（ホワイトボード1枚）
- ② 各ペアをイギリスとインド・中国にわけ
- ③ 各自、置かれた立場で考える
- ④ 意見交換 → 話し合ったことをWBに
- ⑤ 黒板に貼って全体で共有

# ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告



## (2)大項目B「近代化と私たち」 中項目(2)「結び付く世界と日本の開国」 ・校内での第4時の公開授業（高校3年生の「世界史A」にて実施）

自作ワークシート：授業スライドより抜粋②

### ホワイトボード記入のルール

<イギリス> ←自分の立場を記入

いい影響だと思ふことは青で  
悪い影響だと思ふことは赤で  
どちらか判断できないとき黒で  
記入してください

Q5 イギリスの対日観と産業革命後の  
イギリス・インド・中国の様子を  
ふまえ、開国後の日本はどうすれば  
よいか考えよう

自分なりに考察して記述しよう

世界史A・日本史A 合同ワークシート No.4

1学期の学習テーマ：結びつく世界と日本の開国  
メインエッセンス

日本は世界の国々どうつながっていったのだろう

このプリントで扱う小テーマ：④産業革命の影響  
サブエッセンス

産業革命は中国・インド・日本にどのような影響を与えたのだろう

Q1 産業革命後、イギリスの工業はどう変わっただろう？  
グラフから読み取ろう

産業革命以前は、イギリスの輸出品は毛織物、輸入品は絹織物を中心だったが、産業革命後は、輸出品の中心は(1)、輸入品の中心は(2)に変わった。ということは…(続きを書こう)

Q2 グラフからイギリスとインドの変化を読み取ろう

インドからヨーロッパへ輸出された綿布量とイギリスからアジアへ輸出された綿布量が逆転していることから…(続きを書こう)

Q3 資料をもとにイギリスがアヘンを中国に密輸した理由を説明しよう

片貿易ではイギリスは茶・絹・陶磁器の代金として銀を支払うだけだったが、インド産アヘンを密輸することで…(続きを書こう)

HRNo ( ) 氏名 ( )

Q4 イギリスとインド・中国、それぞれの立場で産業革命の影響を考えよう

<ちよっとだけ協働的問題解決学習>

- ①2-3人でペアになる(1ペアにホワイトボード1枚配付)
- ②各ペアをイギリスとインド・中国にわけ
- ③各自、置かれた立場で産業革命の影響を考える(いい影響・悪い影響・判断できないの視点で)
- ④ペアごとに意見を交換(密にならないように注意 マスク着用)  
→ ペアの意見をまとめてホワイトボードに記入(自分の立場記入 いい影響は青・悪い影響は赤・判断できないは黒)
- ⑤黒板の指定された場所にはって全体で共有

自分の立場( )

Q5 イギリスの対日観と産業革命後のイギリス・インド・中国の様子をふまえ、開国後の日本はどうすればよいか考えよう

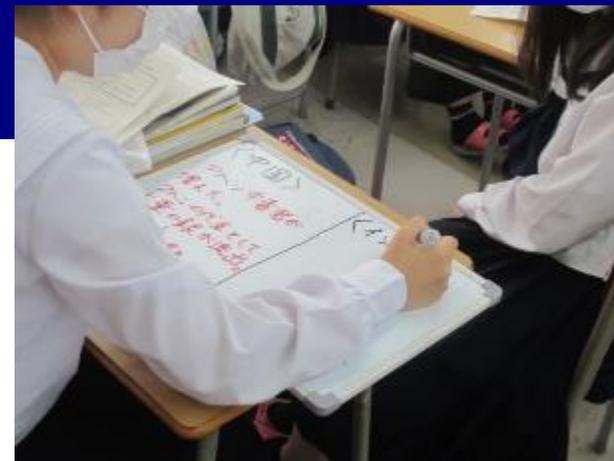
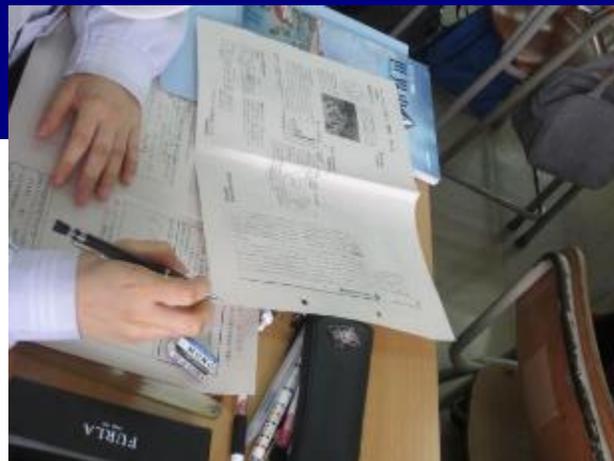
【今日の授業を振り返ってみよう】

☆資料やグラフからいろいろなことを読み取ることができた

とても思う 思う あまり思わない 思わない

☆これまでの学習内容をふまえて、問いの答えを考察することができた

とても思う 思う あまり思わない 思わない



# 目標の確認

# 資料の読み取り

# グループでの意見交換

＜イギリス＞

- 労働組合結成
- 雇用の増加
- 輸入の増加
- 物質的・経済的に潤う
- インド・清に比べて優位な立場
- 資本家と労働者の格差拡大
- 環境汚染
- 一流行病の増加
- 劣悪な労働環境

＜インド・清＞

- 綿工業の職人が失業し、餓死
- アハンの流行による清国内の状況悪化、銀の流出
- 鉄道の発展

＜インド・中国＞

- 支配者層は良質なイギリス製品を手に入れた
- イギリスが綿織物を本国で生産するに比べてインドでは生産者が増えた
- 清では、アハンの代産として大量の銀が流出し、深刻な財政難に陥った

生徒が記入したホワイトボード

# 生徒が記入したワークシート



自分の立場 (インド・清)  
 イギリスの綿布の生産量に負けて多くの綿工業の職人たちが職を失い餓死した。  
 鉄道の発展によって、インド産の綿花が安易に流出した。



Q5 イギリスの対日観と産業革命後のイギリス・インド・中国の様子をふまえて、開国後の日本はどのような考えよう

豊富な鉱山資源の海外の流出を防ぐこと。  
自国の産業の衰退を防ぐ  
 国力を高めていく

自分の立場 (イギリス)  
 銀(金)を大量に輸入する  
 ② 加工貿易による輸出品の増加、国力増大  
 ③ 劣悪な労働環境による国民の不満増大  
 ④ 工業廃棄物により汚れた水で健康被害  
 インド・中国  
 ⑤ 財政悪化、アヘン中毒  
 ⑥ 良品のありの  
 イギリスは ⑦ 外的に増大 国内はまっぴい。



Q5 イギリスの対日観と産業革命後のイギリス・インド・中国の様子をふまえて、開国後の日本はどのような考えよう

こちらを話し合う。一か条約を結ぶ  
日本に技術を手と入れて輸出入のバランスをよくなる  
原料輸出だけだと産業発達せず、不利にならしてしまうかも。  
 ・日本は、鉱山資源流出を防ぐべき。  
 ・イギリスから技術もらって工業化。  
 外交大事!  
 ・中国は敗戦→アヘン中毒化でせられ、弱くていかなる。

- 開国後の日本はどのようにすればよいか (生徒の主な意見)
- ・ 外国との対等な関係を築く (対話、外交重視)
  - ・ 戦争を回避する方法を探る
  - ・ 自国の産業を発展させる
  - ・ 他国の様子を知り、対応策を考える
- など

# ②「歴史総合」を見据えた単元構想と授業実践報告



## (2)大項目B「近代化と私たち」 中項目(2)「結び付く世界と日本の開国」

### ・第5時（高校3年生の「世界史A」にて実施）

自作ワークシート： 授業スライドより抜粋

前回のA科目の授業では

「産業革命は中国・インド・日本に  
どのような影響を与えたのだろう」  
というテーマについて学びました

今回は

日本の産業革命について触れながら、  
日本と世界のつながりについて  
考えていきます

日本の産業の拡大に関する次の3つの資料を見て、  
気づいたことをワークシートに書き出そう

- ①海運・おもな定期航路
- ②貿易額の推移（1868年～1910年）
- ③韓国・台湾・関東州との貿易（1908年）

これらの資料から、当時の日本、  
その後の日本や世界の様子が読み取  
れるかも！



世界史A・日本史A 合同ワークシート No.5

1学期の学習テーマ：結びつく世界と日本の開国  
メインクエスチョン

日本は世界の国々どうつながっていったのだろう

このプリントで扱う小テーマ：⑤日本の産業革命  
サブクエスチョン

日本と世界はどのようにつながっていくのか  
—日本の産業革命を題材に—

Q1 もしあなたが、当時の日本の為政者（明治新政府の中心人物たち）  
だったら、開国後の日本でどういった政策を推進していきますか。  
その理由も含めて、具体的に説明してみよう。

進めたい政策：

その理由：

他の人の提案：

Q2 1872年の岩倉使節団の視察やその後の政策に関するDVDを見て  
・視察を通じて日本はどの国からどんな事を学んだのか  
・具体的にどのような政策を行ったのか  
メモを取りながら考えてみよう

HRNo. ( ) 氏名 ( )

Q3 日本が力を入れた産業について、これらが重要である理由を考えて  
みよう

製鉄業：

造船業：

製糸業・紡績業：

炭鉱採掘：

Q4 日本の産業の拡大に関する3つの資料から気づくことを書き出そう  
（日本にとって都合の良い点は+、悪い点は-マークをつけよう）

①海運・おもな定期航路

②貿易額の推移（1868年～1910年）

③韓国・台湾・関東州との貿易（1908年）

Q5 全5回の学習を踏まえて、あなたは「日本と世界とのつながり」に  
どのようなことを考えますか

# ワークシートから読み取れる生徒の変容

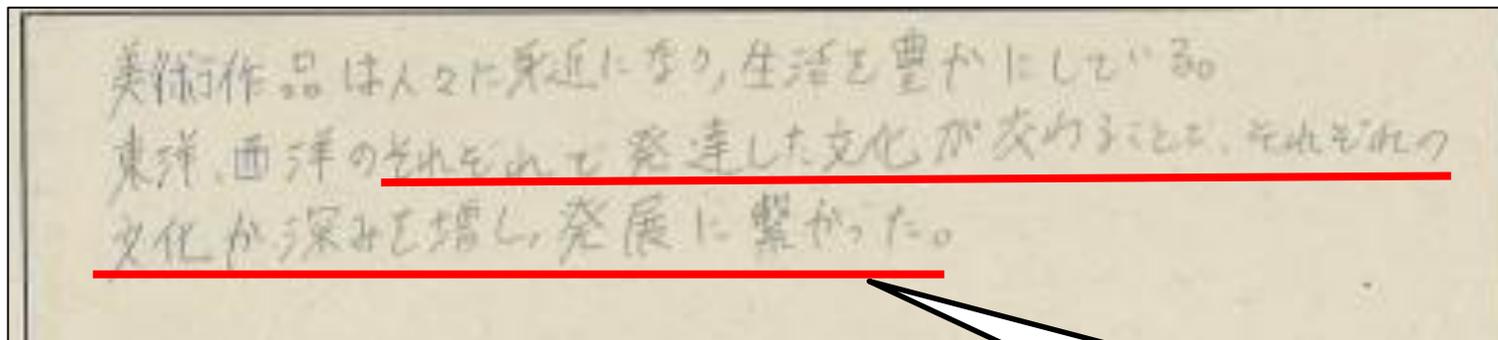


## 第3時授業スライドより抜粋

今回のテーマについて、まとめよう

美術作品は人びと（自分の国、相手の国、それぞれの民）の生活にどんな影響を与えていると考えられるか？  
東洋と西洋が文化を通じて、どのように関係し合っていたのかを読み解こう。

自分で考察し、自分の言葉で表現してみよう！



交流が文化の発展につながった

第4時をふまえて

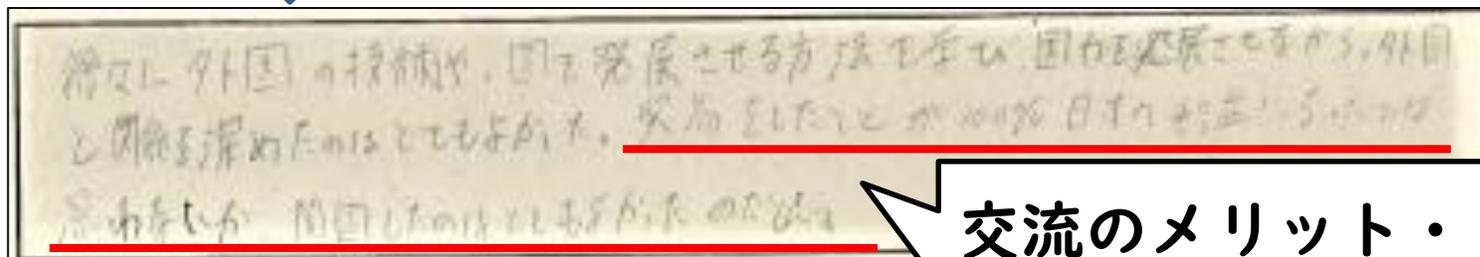
思考の  
深まり

## 第5時授業スライドより抜粋

全5回のテーマで  
「結びつく世界と日本の開国」  
を複数の見方で捉え、考えてきました

これらの一連の学習を踏まえて、

あなたは  
「日本と世界とのつながり」について  
どのようなことを考えますか？



交流のメリット・デメリットをふまえて開国を判断

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ③本年度の取組の特徴

### 1. 他教科（芸術など）、他機関（徳島県立図書館、徳島県立博物館など）との連携

大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」では、  
藍に関する教材研究や生徒用資料として、約50冊の図書を活用できた  
徳島県立博物館所蔵の古地図をデジタルアーカイブで活用できた

大項目B「近代化と私たち」 中項目(2)「結び付く世界と日本の開国」では、  
第3時の文化の伝播 では芸術科の協力を得て浮世絵や陶磁器に関する作品集や  
図書を活用できた

# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ③本年度の取組の特徴

### 2. ワークシートの改善（書き方の指示）

自分の考え → ペア（グループ）ワーク → クラス全体で共有

自分の考えと他者の意見を区分するために

ワークシートに自分で区切りを入れる, 色を変えて書き加える 等の工夫をすることで  
思考の広がりを視覚化する

ワークシートに関して今後改善すべき課題

思考の深まりが視覚化できる具体的な指示

授業前の自分の予想とその理由 → 授業中の取組

→ 何が足りないのか → どうすれば自分の思考がさらに深まるか

単に授業の感想を書くのではなく, 自分の思考を振り返ることができるワークシートを作成する



# (1)「歴史総合」に向けた取組



## ④ 考查問題についての課題と改善

「世界史A」「日本史A」の定期考查は、世界史教員、日本史教員が共同で共通問題を作成し、出題している(どちらの科目も同じ考查問題を解く)

1学期末考查では、授業中のプリントとほぼ同じ問い方で出題したため、

**思考・判断・表現を問うはずの設問が、知識の再生になってしまった**

得点差もほとんどつかず、概ね80~90点の生徒が続出



2学期末考查では、

**授業で学習した「概念」(メディアの功罪, 産業革命による世界の結びつきやその功罪など)を別の資料や別の問い方で問うことで、生徒の思考・判断・表現を図る** ことを出題のねらいとする

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ④ 考查問題についての課題と改善

Ⅰ 学期 授業中のワークシート

### Ⅰ 学期末「世界史A」「日本史A」考查問題

問7 下線部eについて、蝦夷地ではアイヌが先住しており、江戸幕府は鎖国体制下においても松前藩を通じて交易を行ってきた。アイヌの族長は蝦夷錦という織物を着用していたが、この織物はどのようにして蝦夷地にもたらされたか。別紙の配付資料[IV]を用いて説明せよ。なお解答にあたっては、資料の内容の読み取りを明記すること。(例:[IV]の図から……ということが分かる。そのことから……と考えられる。)

Q6 本来、アイヌの族長は蝦夷錦を着用します。蝦夷錦は絹織物です。蝦夷錦は大変美しく、松前藩が幕府に献上することもありました。では、アイヌの蝦夷錦はどこからやってきたのでしょうか。鎖国後の東アジアにおける対外関係を表す図や地図を参考にして考えてみよう。

アイヌは北方での交易もさかんで (④ 山丹) に酒や米、(⑤ えん皮) を送り、(④)からは (⑥ 中国製織物) を得ていたため、それを蝦夷錦と呼んで着用した。

(④)が(⑥)を手に入れた理由として、「続きを書こう」

清は交易していたから。それ、清は日本と交易していたから。

山丹は清は交易関係にあり、清は中国製織物を得ていた。

清は貿易品を日本に運んで来た。清は山丹を正しく交易していたため、アイヌに蝦夷錦という織物をもたらした。

アイヌは蝦夷錦という織物を持っていた。

問7

[IV]の図より、「清は山丹と交易関係にあり、山丹は破布や絹織物などを輸出していることがわかる。」

このことから、「山丹は清より手に入れた中国製織物を蝦夷地へ輸出していたと考えられる。」

1学期の学習テーマ：結びつく世界と日本の開国  
メインクエスト

日本は世界の国々とどうつながっていったのだろう

このプリントで扱う小テーマ：④産業革命の影響  
サブクエスト

産業革命は中国・インド・日本にどのような影響を与えたのだろう

Q1 産業革命後、イギリスの工業はどう変わっただろう？  
グラフから読み取る

産業革命以前は、イギリスの輸出品は毛織物、輸入品は絹物が中心だったが、産業革命後は、輸出品の中心は(1)綿織物、輸入品の中心は(2)生糸(絹)に変わった。ということは…(続きを書こう)  
イギリスは国内で綿織物を生産し始めた。  
原料を輸入し、それを輸出

Q2 グラフからイギリスとインドの変化を読み取る

インドからヨーロッパへ輸出された綿布量とイギリスからアジアへ輸出された綿布量が逆転していることから…(続きを書こう)  
イギリスではインドよりも綿織物の生産量が高くなり、世界で綿織物の生産を担うようになった。  
イギリスの産業革命により、輸入国→輸出国になった。インドはイギリスの原料供給国になった。輸出国→輸入国になった。

Q3 資料をもとにイギリスがアヘンを中国に密輸した理由を説明しよう

片貿易ではイギリスは茶・絹・陶磁器の代金として銀を支払うだけだったが、インド産アヘンを密輸することで…(続きを書こう)  
インドもアヘンで三角貿易となり、アヘンの代金としてインドに銀が支払われ、それをイギリスが②はるか遠くまで運ぶから、アヘンには需要があり、輸出された。

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ④ 考查問題についての課題と改善

2学期 授業中のワークシート

### 2学期末考查問題

※資料については著作権の都合により、掲載は控えます

【4】 次の8つの資料は18～19世紀のイギリス、インド、中国の貿易に関する資料である。次の①、②どちらかの問いを選んで答えよ。なお、解答するにあたって、資料から読み取れることを具体的に指摘して説明する。資料番号は特に記載しなくてよい。

- ① 18～19世紀のイギリスとインドの貿易の関係についてある製品に着目しながら説明せよ。
- ② 18～19世紀のイギリスと中国の貿易の関係について輸出入の品目や第三国の関与等に着目しながら説明せよ。

資料は授業中に用いたものであるが、複数の資料を組み合わせ、自分の言葉で一つのまとまった内容として答える

=知識の再生ではなく、自分で表現する

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ④ 考查問題についての課題と改善

### 2学期末考查問題

【4】 次の8つの資料は18～19世紀のイギリス、インド、中国の貿易に関する資料である。次の①、②どちらかの問いを選んで答えよ。なお、解答するにあたって、資料から読み取れることを具体的に指摘して説明する。資料番号は特に記載しなくてよい。

- ① 18～19世紀のイギリスとインドの貿易の関係について、ある製品に着目しながら説明せよ。
- ② 18～19世紀のイギリスと中国の貿易の関係について、輸出入の品目や第三国の関与等に着目しながら説明せよ。

### イギリスとインドの貿易の関係についての答案

【4】 選んだ番号 ( ① )

イギリスではインドからの綿織物が多く入っていました。  
そこでイギリスは研究し、綿織物を機械をつかって製作し始めた。それに対して、インドは手廻りだった。そのため、イギリスは大量生産し、半額以下の価格でアジアに輸出する。ここで短時間でインドの輸出額をこえた。それによってインドは、イギリスが輸出し始めたことで、輸出額が急激に低下した。

### イギリスと中国の貿易の関係についての答案

18世紀後半においてイギリスは中国から茶葉、陶磁器といったものを輸入し、銀を輸出していた。そしてイギリスの銀の流出が起きる。しかし19世紀に入るとイギリスは、中国にインドをからアヘンを輸出させ、輸入した銀を手に入れるようになった。アヘンには中毒性があるため、暗く間に広がり需要が増え、いったん大量のアヘン中毒者を抱えた中国(清)はイギリスに対し戦争をするが敗北、アヘンが合法化され、さらにアヘンが輸出されるようになった。

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ④ 考查問題についての課題と改善

### 2学期末考查問題

【3】ポスターを見て後の問いに答えよ。  
なお、ポスターについて考察するにあたって、描かれた年代やその頃の社会情勢、国際関係等に着目するとよい。

問1 ポスターAとポスターBの関連性について言及したうえで、ポスターBが意図している内容を考察し、説明せよ。

ポスターA  
1931年以降 日本



ポスターB  
1930年代 日本



※授業では大項目C 国際秩序の変化や大衆化と私たちの(2)「第一次世界大戦と大衆社会」のうち「大衆社会の形成—メディアが示す国民」を実施

1920年代前後に描かれた複数の日本のポスター及び外国のポスターからメディアの影響力について学習した。

定期考查では、授業で学んだ概念(メディアの功罪やその付き合い方)について 初見のポスターから理解できているかを問う。

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ④ 考查問題についての課題と改善 2学期末考查問題

【3】ポスターを見て後の問いに答えよ。  
なお、ポスターについて考察するにあたって、描かれた年代やその頃の社会情勢、国際関係等に着目するとよい。

問1 ポスターAとポスターBの関連性について言及したうえで、ポスターBが意図している内容を考察し、説明せよ。

ポスターA  
1931年以降 日本



ポスターB  
1930年代 日本



### 生徒の答案

【3】  
問1 Aのポスターから、Bのポスターにおいて会場となっている場所が当時のデパートであることが分かる。  
1930年代には日中戦争が起っていた。そのことを踏まえると、人の集まるデパートなどで軍事的な値しを移ことで、国民の興味を戦争に向けたという意図がBのポスターから考察できる。

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ⑤評価についての課題

- ・「学習改善につなげる評価」 評価資料:ホワイトボード, 発表

大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」 第1時の評価(学習指導案より)

既習の知識や柔軟な発想から「答え」を導くのに必要な資料とはどのようなものかを考察し, ホワイトボードに記入している。

「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て

これまでの「世界史A」や「日本史B」の学習内容と今回の学習が結びついていないと考えられるため, 机間指導の際には口頭だけでなく教科書等を用いて視覚で理解させる等, 生徒が思考しやすい状態をつくる。

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ⑤評価についての課題

- ・「評定に用いる評価」 評価資料:レポート

大項目A「歴史の扉」 中項目(1)「歴史と私たち」 第5時の評価(学習指導案より)

- ・ 19世紀末からの徳島の藍産業や物流の仕組みの変化をもとに、徳島の歴史と日本さらに世界の歴史との関連性について考察し表現している。
- ・ 19世紀末からの徳島の藍産業の発展や地域の状況の変容について日本や世界の変化と結び付いていることを理解している。

「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て

古地図の読み取りや藍産業の推移のグラフなど、該当生徒が関心を示しやすい資料を用いて、断片的に口頭または筆記による内容の整理を促す。断片的理解をつなぎ合わせられるように、図式化や箇条書き等の手順を経て、短文から徐々にまとまりのある文章の作成へと導く。

# (1)「歴史総合」に向けた取組

## ⑤評価についての課題

- ・ 考査問題における評価（2学期末考査の採点基準）  
試行錯誤しながらの模範解答づくりや採点基準づくり

生徒の答えは、まちまちである。

読み取れている部分についての説明の仕方や、時代背景についての説明の仕方などが多様で、基準の設定が難しい。

→ 発問の仕方の工夫も必要

例：ポスターBのイベントの主催者がなぜそこでそのイベントを行おうとしたのか

【3】ポスターを見て後の問いに答えよ。なお、ポスターについて考察するにあたって、描かれた年代やその頃の社会情勢、国際関係等に着目するとよい。

問1 ポスターAとポスターBの関連性について言及したうえで、**ポスターBが意図している内容を**考察し、説明せよ。

ポスターAは京都駅前の丸物という百貨店の案内である（新館完成の大売出しの宣伝をしている）。ポスターBでは、その丸物の店内（催し物コーナーなど）で（国防協会や陸軍省・海軍省が主催する）第二線国防大展示会を開催している。この2つから、人の集まりやすい百貨店で戦争に関するイベントを行うことで、より多くの国民に戦争についてアピールすることを意図していると考えられる。

- ①Aが百貨店のポスターであることを指摘している
  - ②Bの会場が百貨店であることを指摘している
  - ③人の集まりやすい百貨店で戦争に関するイベントを行っている
  - ④Bが大衆に戦争について肯定的に知らせることを意図している
- ①②③④それぞれで部分点あり

# 生徒アンケートの変容(2年歴史)



資料やグラフデータの読み取りは好き(得意)ですか？

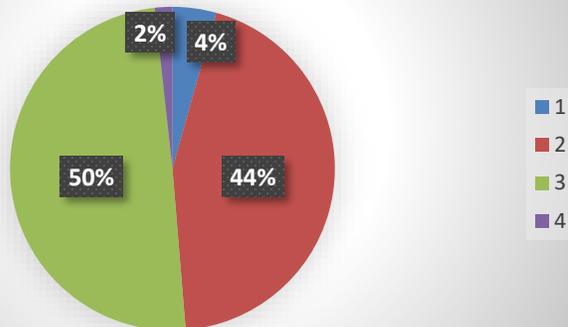
1 よくあてはまる

2 あてはまる

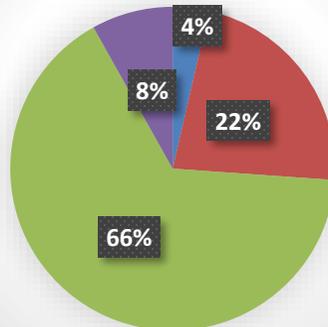
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

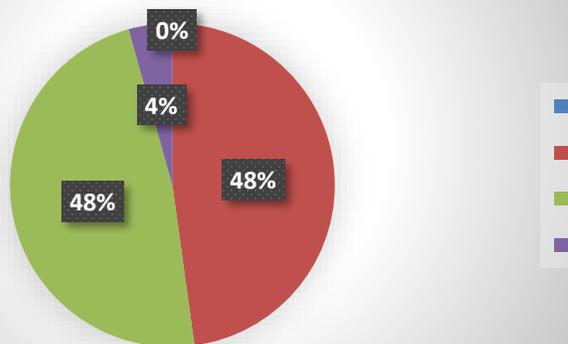
2年日本史(5月)



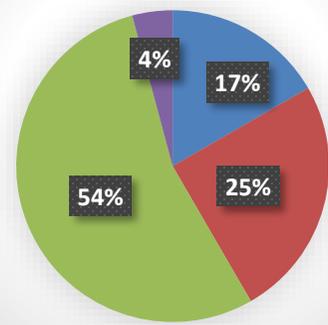
2年日本史(12月)



2年世界史(5月)



2年世界史(12月)



読み取りが  
好き(得意)が  
大きく減少  
→ 難しさ実感？

難しい・・・  
点が取れない

# 生徒アンケートの変容(3年歴史)



資料やグラフデータの読み取りは好き(得意)ですか？

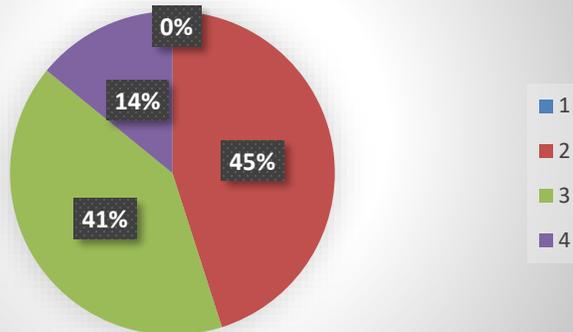
1 よくあてはまる

2 あてはまる

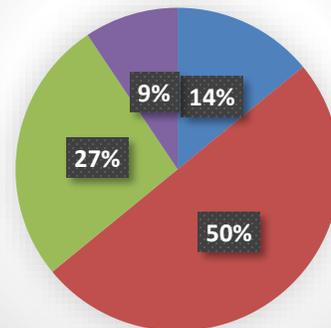
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

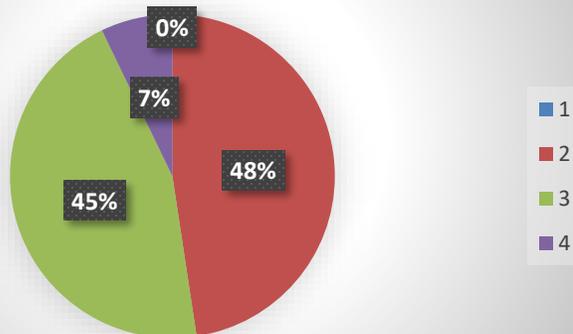
3年日本史(5月)



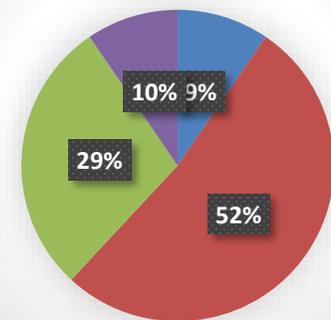
3年日本史(12月)



3年世界史(5月)



3年世界史(12月)



自分の知識を活用して解けたときはうれしい

読み取りが好き(得意)の割合増加

データを読み取り原因を考察するのが面白い

# 生徒アンケートの変容(3年歴史)



地理的な視点で歴史を見たり考えたりすることを意識していますか？

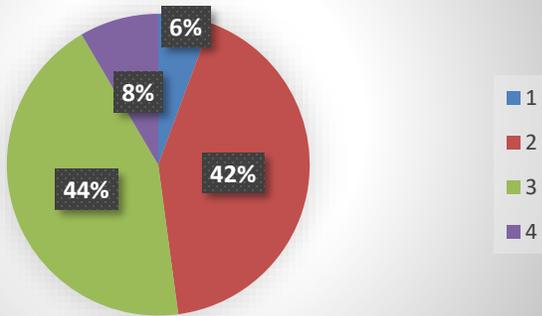
1 よくあてはまる

2 あてはまる

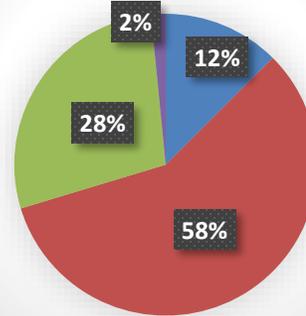
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

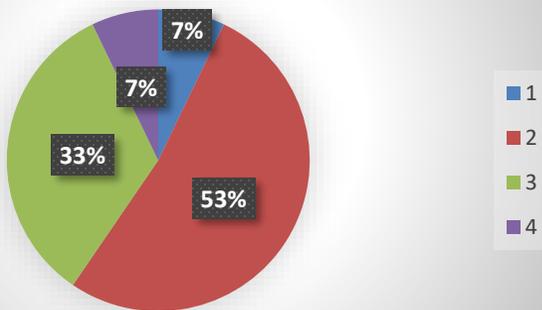
3年日本史(5月)



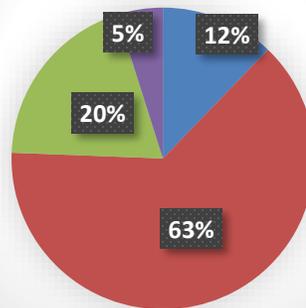
3年日本史(12月)



3年世界史(5月)



3年世界史(12月)



地理的な視点を意識する生徒の割合増加

# 生徒アンケートの変容(3年歴史)



地理的・歴史的な観点から、現代社会の諸課題について考えたことがありますか？

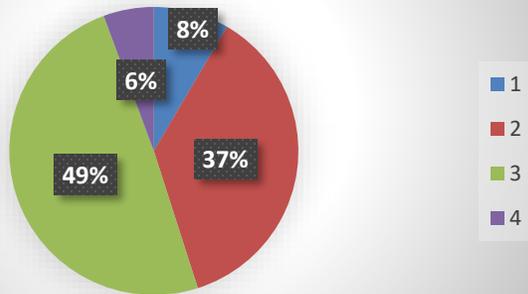
1 よくあてはまる

2 あてはまる

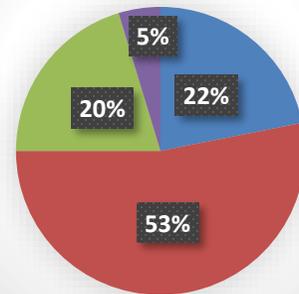
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

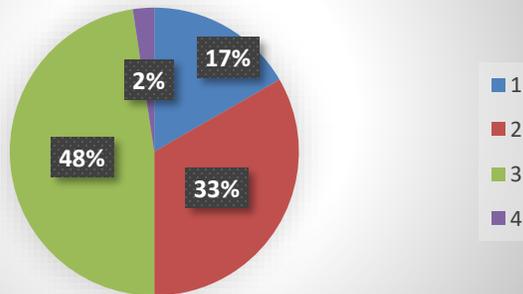
3年日本史(5月)



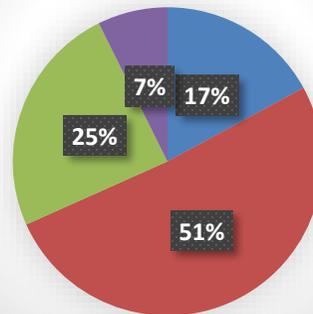
3年日本史(12月)



3年世界史(5月)



3年世界史(12月)



現代社会の諸課題  
について考えた  
生徒の割合増加

# 3.今年度の取組



## (2) 「地理総合」に向けた取組



タブレットを活用したSDGSを考える授業実践



「地理総合」を見据えた実践

# 生徒アンケート(地理・5月)



1 よくあてはまる

2 あてはまる

3 あまりあてはまらない

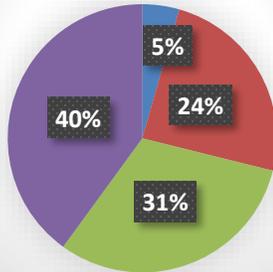
4 あてはまらない

歴史的な視点で地理を見たり考えたりすることを意識していますか？

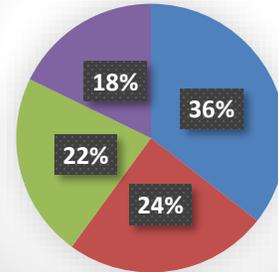
地理的・歴史的な観点から、現代社会の諸課題について考えたことがありますか？

選択した科目は将来役に立つと思いますか？

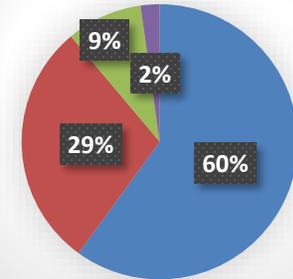
2年地理



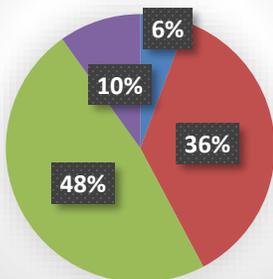
2年地理



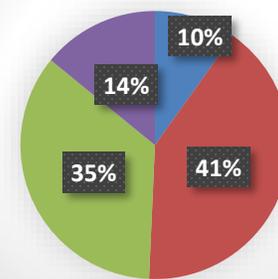
2年地理



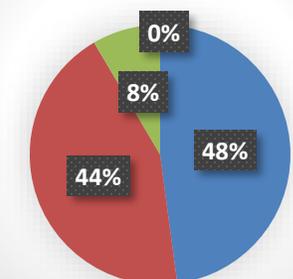
3年地理



3年地理



3年地理



# 生徒アンケート(地理・5月)



## 分析結果

- ・歴史的な視点が意識できていない
- ・授業と現代の諸課題が結びついていない

将来とのつながりを意識している

地理歴史科生徒アンケート

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
クラス	1	2	3	4	5	6	7	8	9
番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【回答上の注意】  
1. 正しく書くマークをしてください。  
2. 間違えた場合は跡の消しはしないでください。  
3. 汚れないようにしてください。

正しいマーク: ●    誤ったマーク: ○    ✕    ⊙

以下の質問に  
よくあてはまる: ①    あてはまる: ②    あまりあてはまらない: ③    あてはまらない: ④  
の4段階で答えてください。

問題番号	問題文	回答欄
Q 1	史資料やグラフ、データの読み取りは好き(得意)ですか? くふうあった返事を書いてください。 <i>グラフや図表は2種類は大体分かるが、それと上手く言葉に出せない。</i>	① ② ● ③ ④
Q 2	【歴史選択者へ】 地理的な視点で歴史を振り返り考えたりすることを意識していますか?	① ② ● ③ ④
Q 3	【地理選択者へ】 歴史的な視点で歴史を見たり考えたりすることを意識していますか?	① ② ● ③ ④
Q 4	地理的・歴史的な視点から、現代社会の諸課題について考えたことがありますか?	① ● ② ③ ④
Q 5	選択した科目は将来役に立つと思いますか?	① ● ② ③ ④
Q 6	選定科目での選定科目の興味関心度はどうですか? *この質問のみ 1 (高い) → 4 (低い)	● ② ③ ④ 高い → 低い
Q 7	【3年生のみ】2年生をふりかえって主体的・対話的な学びができましたか?	① ② ● ③ ④
Q 8	【3年生のみ】2年生をふりかえって、地理的・歴史的な技能が身に付いたと思いますか?	① ② ● ③ ④

※生徒の実態やアンケート結果を踏まえ授業改善，単元構想へ

## (2)「地理総合」に向けた取組



- ①育てたい生徒像
- ②「地理総合」を見据えた単元構想と授業実践報告
  - (1)大項目C「持続可能な地域づくりと私たち」
    - 中項目(1)「自然環境と私たち」
    - (2)「生活圏の調査と地域の展望」について
  - 単元構想(7時間相当)
- ③本年度の取組の特徴
- ④考查問題並びに評価についての課題と改善

## (2)「地理総合」に向けた取組



### ②「地理総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

#### (1) 大項目C「持続可能な地域づくりと私たち」

中項目(1)「自然環境と私たち」(2)「生活圏の調査と地域の展望」

単元構想(7時間相当)

単元の目標(学習指導案より一部抜粋)

- ・にし阿波地域について、急速な少子高齢化と人口減少の問題や、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組があることを理解する。
- ・にし阿波地域を題材にして、過疎地域の活性化の取組について、フィールドワークでのインタビュー調査や自らで複数の資料や統計データにあたり、考察したことを表現できる。
- ・生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりといった多面的・多角的な視点を持つことの大切さに気付く。

## (2)「地理総合」に向けた取組



### ②「地理総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

#### (1) 大項目C「持続可能な地域づくりと私たち」

#### 中項目(1)「自然環境と私たち」(2)「生活圏の調査と地域の展望」

#### 単元構想(7時間相当)

小単元	主要概念(SQ)	地理的な見方・考え方
C 持続可能な地域づくりと私たち (1)「自然環境と私たち」 (2)「生活圏の調査と地域の展望」について 小単元のMQ 「世界農業遺産にし阿波地域にはどのような暮らしがあるのか。どうすれば持続可能な地域づくりができるだろうか。」	SQ【世界農業遺産にし阿波地域にはどのような特徴があるだろうか。】	「地域」 ・にし阿波地域にはどのような特徴があるのか。 ・なぜにし阿波地域はそうになったのか。 ・にし阿波地域をどのような地域にすべきか
	SQ【持続可能な地域づくりのためにどのような取組が行われているのだろうか。】	
	SQ【現在行われている取組にはどのような課題があるのか。またその解決のためには何が必要だろうか。】	
	SQ【4つの視点(国際・ESD・防災・農業)からこれまでの問題点の解決策を考えよう。】	
	SQ【どうすれば持続可能な地域づくりができるだろうか。】	

## (2)「地理総合」に向けた取組



### ②「地理総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

#### (1) 大項目C「持続可能な地域づくりと私たち」

中項目(1)「自然環境と私たち」(2)「生活圏の調査と地域の展望」

単元構想(7時間相当)

#### 単元の評価規準【新課程】(学習指導案より一部抜粋)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・にし阿波地域における持続可能な地域づくりに向けた取組について理解している。</li><li>・生活圏の調査を基に、探究する方法について理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・にし阿波地域について、「空間的相互依存作用」と「地域」に着目して、にし阿波地域にはどのような暮らしがあるのかやどうすれば持続可能な地域づくりができるのかなど、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・にし阿波地域で見られる課題についての関心と課題意識を高め、どうすれば持続可能な地域づくりができるのかについて、主体的に追究、解決しようとしている。</li></ul>

## (2)「地理総合」に向けた取組

### ②「地理総合」を見据えた単元構想と授業実践報告

#### (1) 大項目C「持続可能な地域づくりと私たち」

中項目(1)「自然環境と私たち」(2)「生活圏の調査と地域の展望」  
単元構想(7時間相当)

#### 単元の評価規準【現行課程】(学習指導案より一部抜粋)

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・技能
<p>・にし阿波地域についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。</p>	<p>・地形に着目し、にし阿波地域の産業やくらしの特徴を考察し、表現している。</p> <p>・にし阿波地域の傾斜地農耕システムの仕組みの変化について考察、表現している。</p>	<p>・地理情報システムや地形図などから、読み取った内容をまとめている。</p> <p>・フィールドワーク(出前授業)で聞き取った情報やデータを用いて口頭で説明したり、文章や図・表にまとめたりする技能を身に付けている。</p>	<p>・にし阿波地域の傾斜地農耕システムの仕組みや地域の状況の変容について理解している。</p>



**【基軸となる問い】** 世界農業遺産にし阿波地域にはどのような暮らしがあるのか。  
 どうすれば持続可能な地域づくりができるだろうか。

時程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
第一時	<p><b>【本時の問い】</b> 世界農業遺産にし阿波地域にはどのような特徴があるだろうか。</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のアンケートに答える。</li> <li>・地図を見てにし阿波地域の自然環境を概観し、地域の特徴を捉える。</li> <li>・にし阿波地域の人口の推移や年齢別人口構成の推移から、人口や都市・村落に関連する地理に関わる事象を見いだす。</li> </ul>	●		●		<p>(評価資料)：ワークシート, 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地形図やGoogle Mapから地形的な特徴を読み取ったり, RESASのデータや地理情報システムの情報をもとに、にし阿波地域の人口や居住に関する特徴を読み取ったりしている。</li> <li>●にし阿波地域の課題を見いだそうとしている。</li> </ul>

時程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
<p><b>【本時の問い】 世界農業遺産にし阿波地域にはどのような特徴があるだろうか。</b></p>						
<p>第二時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にフィールドワークに参加したグループの代表生徒（ファシリテーター）による報告を聞き、グループ内または全体で共有する。</li> <li>・これまでの授業内容を振り返り、ワークシートに整理する。</li> </ul>		●			<p><b>（評価資料）：ワークシート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ファシリテーターの報告と前時に作成したワークシートと見比べながら、地域の強みや課題を見だし、ワークシートに記入している。</li> <li>○地理情報システムや地形図、聞き取り調査などから、『にし阿波地域の持続可能な取組』に関する資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったりしている。</li> </ul>
<p><b>【本時の問い】 持続可能な地域づくりのためにどのような取組が行われているのだろうか。</b></p>						
<p>第三時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャー①（世界農業遺産担当者）の話を読み、にし阿波地域の自然的特徴を把握する。</li> <li>・ゲストティーチャー②（にし阿波地域の民泊経営者）の話を読み、にし阿波地域の社会的特徴を把握する。</li> </ul>				●	<p><b>（評価資料）：ワークシート、発表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●にし阿波地域の自然的特徴及び世界農業遺産認定の効果や継続の課題について理解している。</li> <li>●にし阿波地域の社会的特徴及び観光開発の成果と課題について理解している。</li> </ul>

時程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
【本時の問い】 現在行われている取組にはどのような課題があるのか。またその解決のためには何が必要だろうか。						
第四・五時	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自でまとめた地域的課題を解決しうる要素に分け、ウェビング図を含むワークシートにまとめる。</li> </ul>		●			<p>(評価資料): ワークシート, 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域的課題を要素に分け, 整理している。</li> </ul>
【本時の問い】 4つの視点(国際・ESD・防災・農業)からこれまでの問題点の解決策を考えよう。						
第六時	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当グループごとに, 視点を決め, 持続可能な地域づくりを行うための方策を考察する。</li> <li>他のグループの発表内容も考慮し, 【基軸となる問い】の「答え」を各自が見出し最終意見を作成する。</li> </ul>		●			<p>(評価資料): 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題点に対するそれぞれの視点から具体的な方策を示している。</li> <li>○ 持続可能な地域づくりのための方策について多面的・多角的に考察し, 自分の意見としてまとめている。</li> </ul>
【本時の問い】 どうすれば持続可能な地域づくりができるだろうか。						
第七時	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習を振り返り, 今後の地理の学習にどのように生かしてしていくのかということについてまとめる。</li> <li>新たな課題を見つけるための方法や次の計画を立案する。</li> </ul>	○				<p>(評価資料): ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の方法を振り返り, 今後の地理の学習につなげようとしている。</li> <li>○ 地理的な課題の解決に向けて探究する手法などについて理解している。</li> </ul>

# 「地理総合」を見据えた単元構想



授業スライドより抜粋

**【主題学習】**  
世界農業遺産「にし阿波地域」  
の持続可能な地域づくり  
を考えよう



## 自然システマ的アプローチ

地図・地形・気候に着目して考える

## 社会システマ的アプローチ

人口・地域性・生活文化・経済など  
に着目して考える



## 資料①



## にし阿波地域の現状

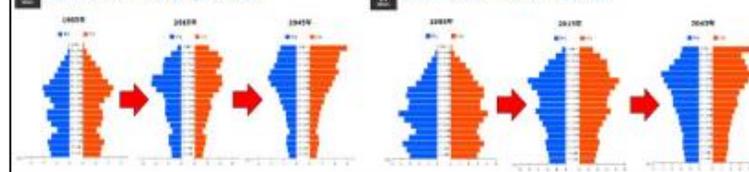
人口推移 (にし阿波)

人口推移 (徳島県)



人口ピラミッドの変化 (にし阿波)

人口ピラミッドの変化 (徳島県)



## 資料④

## 世界農業遺産傾斜地農耕システム



# 「地理総合」を見据えた単元構想



事前フィールドワーク



第1時の課題発見学習



第5時のウェビングマップ



出前授業(つるぎ町役場)



出前授業(民宿うり坊経営者)



第6時のグループ学習





Q2：4つの視点（国際・ESD・防災・農業）での解決策を考えよう。

※ESDとは・・・持続可能な開発

国際

【自分の意見】

- ・アジアなどの外国の旅行者が増えており、外国人は日本の生活を体験してみたい人が多いため、1ヶ月間の生活体験などを企画する。
- ・耕作放棄地がたくさんあると思うので、農業修学旅行客が依頼すれば1年かけて田うえ体験ができるようにする。
- ・泊らなくても気軽に食事ができるレストランを建設する。

【他の人の意見】

ESD

【自分の意見】

- ・作られた野菜サジビエをブランド化して、少しでも他者に興味を沸かせる。
- ・民泊だと泊まれる人数が少なく、行かなくても行かない客などがいると思うので、大きなホテルを建てる。
- ・少しでも若い世代の手が必要なので、コロナで職を失った人々を積極的に募集する。

【他の人の意見】

防災

【自分の意見】

- ・保存食を作るのに力を入れているのでそれを生かして災害用の保存食を作る
- ・カヤなどをたくさん置いて、土砂流出を防ぐ。

【他の人の意見】

【第6時】

思考の深まりを感じ、自らの力で解決方法を見いだすようになった

農業

【自分の意見】

- ・ネットで野菜を売って成功している事例もたくさんあるのでそれに倣って販売する。
- ・伝統があることが持ち味だと思うので、ブランド化しやすい。
- ・通常は食べられない貴重な野菜もあるので、それを売り出す。

【他の人の意見】

4桁番号：

## (2)「地理総合」に向けた取組



### ③本年度の取組の特徴

1. 昨年度作成した、地理歴史融合の授業実践の推進  
（「世界史A」・「地理B」の授業の中で）
2. フィールドワークを取り入れた単元構想  
※今年度はコロナ禍のため、代表生徒のみの参加
3. ICEモデルを活用した「地理B」での授業実践と評価



# (2)「地理総合」に向けた取組

◎「地理総合」を見据えた地理 B の授業の問い

7月1日3限目 34・35HR 地理選択者(44名) 6限目 33HR 地理選択者(22名)  
「世界人口の推移とその課題には、どのように社会的・経済的背景が影響しているのだろうか？」

- Q1:世界(=地球)の人口は現在何億人?
- Q2:世界でこのような形態となる背景としてどんなことが考えられるだろうか?  
(世界の人口ピラミッドから)
- Q3:日本でこのような形態となる背景としてどんなことが考えられるだろうか?  
(日本の人口ピラミッドから)
- Q4:今後、世界の人口はどのように変化すると予測されるだろうか?  
(2020年以降の部分を作図させる形で)
- Q5:具体的にはどの地域が増加して、どの地域が減少するだろうか?  
※共通テスト試行問題をはさむ
- Q6:自分たちの住んでいるまちの人口ピラミッドはどのようにになっているだろうか?  
(ひなた GIS のマップ&データを用いて)
- Q7:どこの国の人口ピラミッドだろうか?  
(アラブ首長国連邦の人口ピラミッドから:特徴的な事例)  
※選択肢を与え、他の国も考察させる形式

- (その他)
- ・昨年度から実践している世界史 A における地理歴史融合型の授業実践
- ・ICE モデルを活用した問いとワークシート
- 【ICE モデルの各段階の典型的な問い】
- I・・・「これは何ですか(どこですか)」
- C・・・「それはなぜですか」「簡単に言うとどういうことですか」
- E・・・「あなたならどうしますか」「このことの意味は何ですか」
- ・思考力を問う問題と評価の一体型を図った考査問題
- 【評価(採点基準)】

**ICEモデルを  
活用した授業実践**

- A:十分に満足できると判断される(根拠となる事例や背景にまで触れられている)
- B:おおむね満足できると判断される(資料からの的確な読み取りができています)
- C:努力を要する(無解答・全くの誤答など)

## 地歴融合型授業のワークシート

**歴史部分**

【仏教のおこりと広がり】  
・仏教の成立  
(ゾロアスター教、ヒンドゥー教)  
身分制度とバラモンの種族を定めた「カースト」制  
(前17世紀ころ～前1000年ころ)  
【アンティカ】  
インドを統一して、仏教を国家の基礎としたアショーカ王  
(3世紀から5世紀)  
【カニシカ】王→仏教を保護  
(カニシカ) 実務の成立  
(カニシカ) 仏教の成立 (3世紀)  
中央アジアから中国・朝鮮半島、日本へ伝播  
(上座部) 仏教の成立 (1世紀)  
東シベリアから東部アジアへ

**地理部分**

【地理(地理的見方)】  
Q1 インドス文明が栄えた地域はどのような地形であるだろうか。  
・川の下流(低地帯)  
・海に近く  
・山脈の近く  
山脈の北にあって川が南流している  
谷間に集積している  
谷間は水が豊富  
緑地が多い

**自分の意見**

**他人の意見**

**「世界史A」の授業内容**

1時間の授業中で地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方を養わせる工夫

# 生徒の活動： スライドを見ながらレポートを完成させていく



## 世界の人口 (人口問題)

【身につく地理的技能】

資料を読み取る力

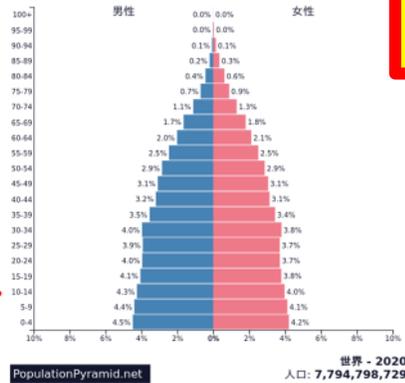
地図・資料を適切に活用する力

【単元のねらい】

世界人口の推移とその課題の社会的・経済的背景を理解する

## 問2

世界でこのような形態となる背景としてどんなことが考えられるだろうか？

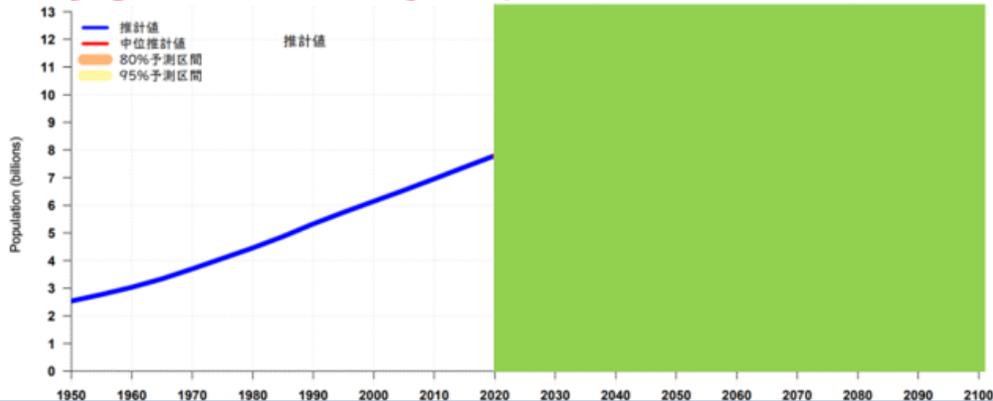


世界の人口ピラミッド

## ICEモデルを活用した授業



問4 今後、世界の人口はどのように変化すると予測されるだろうか？



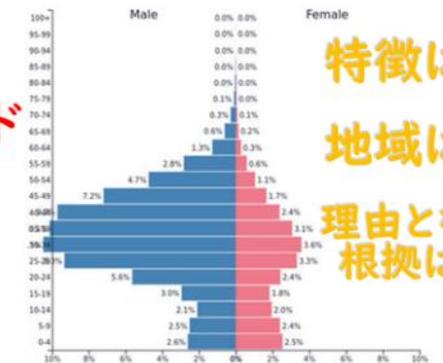
## 問6

自分たちの住んでいるまちの人口ピラミッドはどのようになっているだろうか？



## 問7

どこの国の人口ピラミッドだろうか？



特徴は？  
地域は？  
理由となる根拠は？

授業スライドより抜粋

# 生徒の思考の変容を見取るワークシート(「地理B」:世界の人口問題)



## ワークシートの工夫

・グローバルな視点からローカルな視点へとスケールダウンして考えさせる工夫

・思考していることを図式化

※そう考えた理由や予想を記述

・自分の考えと他者の考えの区分  
(仕切りで区切る, 色分け)

## ワークシート自体の課題

・どのような思考で考えたかは読み取れるが、変容までには至っていない。

・右の欄の人口ピラミッドの指示が曖昧で人によって形や目盛がばらばら

※世界の人口 (人口問題)  
 ※ 教科書P168~179、資料集P204~214、  
 ※ 要点ノートP106~109、統計要覧P40~55  
 現在:世界の人口(77)億人...1年間で8000万人ずつ増加  
 Q 世界でこのような形態となる背景としてどんなことが考えられるだろうか?

【自分の意見(予想)】  
 ・医療があまり発達してゐる、高齢者の割合が低い  
 ・多産多死  
 ・子どもが育たない地域(たくさん産む)

【他の意見(実際は)】  
 ・生産年齢人口が増加することで、若年層が増加している  
 ・途上国の影響を受けている

Q 日本でこのような形態となる背景としてどんなことが考えられるだろうか?

【自分の意見(予想)】  
 ・医療が発達→高齢者の割合高  
 ・少産少死  
 ・少産となっている(晩婚化や、結婚しない人が増えている)

【他の意見(実際は)】  
 ・育児の介護に時間をとられ、子育てできない  
 ・子の養育費(お金の産み出し) (お金のやり)

Q 今後、世界の人口はどのように変化すると予測されるだろうか? 予想されるグラフの続きを書いてみよう。

Q 具体的などの地域が増加してどの地域が減少するだろうか?  
 ※増加する地域 (中東アジア、西アジア、オセアニア、<sup>南北</sup>アフリカ、<sup>赤道付近</sup>アフリカ) (中央部)  
 ※減少する地域 (東アジア、東ヨーロッパ)

Q 自分たちの住んでいるまちの人口ピラミッドはどのようになっているだろうか?  
 ※実際に予想される現在の人口ピラミッドを書いてみよう。

( つるぎ町 ) → 自分の住む町

※今後どうなることが予想されるだろうか。

若い労働者の人々が  
 郊外に出ていくという話をよくきくから。  
 保育所~高校まで、昔のよう  
 大幅に減少してきたとよくきくから。  
 ↳ 高校の募集人員も低下  
 ↳ 出生率低下

Q スライドの問題 (★評価ポイント: 思考・判断・表現)

どこの国 = ( ① アラブ首長国連邦 )

そう考えた理由(予想: 自分の考え)  
 宗教の関係で、男性の方が多いと思ったから。  
 (男性中心-女性少ない)

(実際: 他者の考え)  
 外国人労働者を多く受け入れているから。  
 石油-お金

【なぜそのように予想したのか?】  
 地球上で暮らす人数には、限度があると思っただから。→ 途中降参

GOOD JOB!

## (2)「地理総合」に向けた取組

### ④ 考査問題並びに評価についての課題と改善

昨年度までに比べると思考力を働かせる問題の改善が進んだが、まだまだ改善が必要  
生徒の正答率が低下

(2年生 気候)

○以下の会話文を読み、コナンが「金田一が嘘をついている」と見抜いたのはなぜかを説明しなさい。  
(思考力を問う問題)



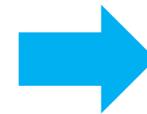
コナン：事件が起こった日、つまりクリスマスイブにあなたはどこにいましたか。  
金田一：その日、私は①タンザニアにいました。その際に撮った写真がこれです。写っているのは②サバナ気候に見られる③バオバブという樹木です。  
コナン：何かおかしい。下線部①から③がすべて正しいはずはない。・・・そうか、わかったぞ。

#### テスト問題の採点基準

- A: 根拠や背景にまで触れている解答
- B: 事実の羅列のみの解答
- C: 問題の理解ができていない

1学期期末考査(7月)  
【受験者45名】

A: 6名  
B: 34名  
C: 5名



2学期期末考査(12月)  
【受験者45名】

A: 18名  
B: 22名  
C: 5名

Aの増加には成功したものの、Cは横ばい

#### 【課題】

さらなる指導と評価の一体化→C評価の生徒に対する指導の工夫  
観点別評価に合わせた考査問題の作成

ア	15-24歳の識字率	イ	成人のHIV感染率	ウ	合計特殊出生率
A	中部アフリカ	B	北部アフリカ	C	南部アフリカ

1学期の期末考査までは地理が苦手で50点を越えたことがなかった生徒の答案  
(3年生2学期末)

問5

アはアフリカでも発展している北部の割合が高いことから、識字率であると考えられ、イは南部の南アフリカなどで高い割合であることからHIV感染率であると考えられる。ウは比較的発展が遅れている中部アフリカで割合が高いことから人口爆発が要因と考えられて合計特殊出生率となる。また、Aは出生率は高いが死亡率も高いので、衛生環境が整っていない中部アフリカは出生率・死亡率ともに低く早くから発展していたので高齢化が進行している北部アフリカ、Cは1995年からの死亡率が大幅に上昇しているため、南アフリカでのHIVの流行が要因と考えられて南部アフリカとなる。



- ・ 昨年の反省を活かし、考査問題も科目の枠を超えて作問&解答の議論
- ・ 生徒の記述力・思考力は確実にアップ
- ・ 模試の平均点やマークの選択問題でも正解率がアップするなど着実な底上げに成功

# 生徒アンケートの変容(地理)



歴史的な視点で地理を見たり考えたりすることを意識していますか？

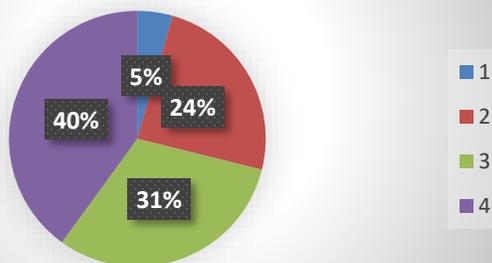
1 よくあてはまる

2 あてはまる

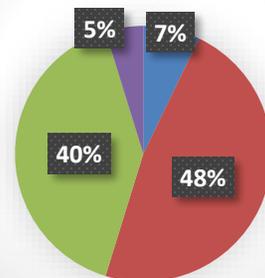
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

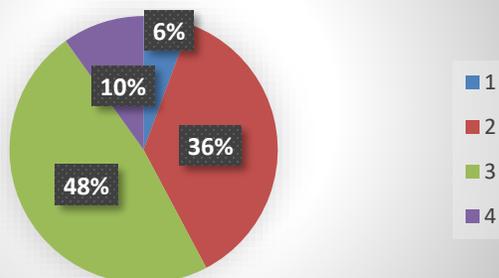
2年地理(5月)



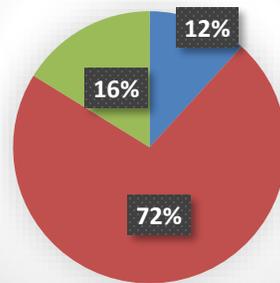
2年地理(12月)



3年地理(5月)



3年地理(12月)



歴史的な視点を意識する生徒の割合増加

## ◎意識の変化

世界地図に描かれている線は単なる国境、としか思っていなかったのだが、歴史のなかで  
この線は何度も変わっていたり、山脈や川が隠れていたり、植民地時代に緯線や経線  
でめざり決められていたりして、地図帳をひらげるときにこのような背景を考えられるようになった。

歴史と地理を結びつけることで、各国の旧宗主国やそれによって、植民地となった  
地域の宗教や農業の様子などがストーリーとして見えきたのがおもしろ  
かった。ただ単にその場所で行われている農業や工業の様子を賞えるのではなく、  
歴史を追って地域の特徴や経済の成長の様子を捉えようと思うようになった。

# 地理の授業実践を通して見られた変化②



## ◎知識活用力の向上

歴史的な見方・考え方をすることで、地理での民族争いや宗教言語などをただ覚えるだけでなく、しっかり納得して学習できたので、頭に入ってきてやすくて残りやすかったです。 歴史の授業でも同じく、一方向からだけでなく、いろいろな方向から考えることで、必要は科目だと思っていたものでも、互いに助け  
とれる知識をつけられたと思います。 それが共通テストで暗記しているだけでなく、背景から推測しつづける力が  
生かすことができるのではいいかなと思います。

## ◎理解の深まり

地理では、歴史的背景からみることでなぜそこが生産されているのかや、どのような形いまでして国体・組織ができたかなどを知ることができ、より理解が深まった。(ex) インドの茶の栽培→イギリスの植民地だったから。  
世界史Aでは、紛争が起こった理由や島をとった理由は資源が近くにあることや宗教(植民地の影響)で、文明が栄えた理由は川があり、山に囲まれて攻めにくいことがあったりと地理と関連させてみることができた。地理と歴史を混ぜながらすることでより理解を深めることができました。

# 地理の授業実践を通して見られた変化③



## ◎他教科への波及

地理と世界史の授業で関連性が大事だと学びました。このことを学んだことにより他の教科でも勉強の効率が上がったと思います。例えば、英単語を覚える際に7を覚えるだけでは意味の付いていない単語、スペインの付いている単語と関連付けて覚えること。数学や物理では、どの問題にどの公式が使われるのかを認識することによって解ける問題も増えていきました。地理と世界史を通じて、関連性を身につけることで、学習の仕方を身につけることになりました。

## ◎苦手意識の克服

歴史的背景を知りながら、地理が学べたことで、ただの暗記ではなく、幅広い知識を得ることができた。特に今回の世界史の範囲は、何が原因で、内戦や戦争が起きているのかを知ることができ、理解がしやすかった。初見の問題でも今まで学習した知識を繋げて理解ができていた。歴史的な見方をすることにより、以前学習したものが完全に定着して授業がとて楽しくなった。暗記中心で終わらさず、歴史で学習したことを地理で学習したことを繋げることで、様々な角度から問題をとく力が身についたと思う。

[6]

(1)

(2)

(4)

# 生徒アンケートの変容(地理)



地理的・歴史的な観点から、現代社会の諸課題について考えたことがありますか？

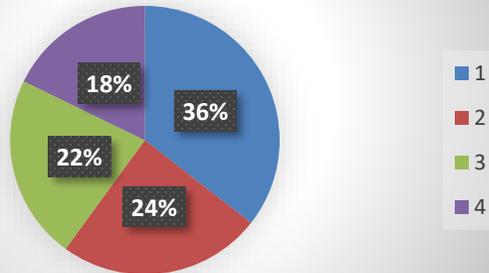
1 よくあてはまる

2 あてはまる

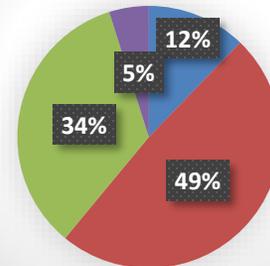
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

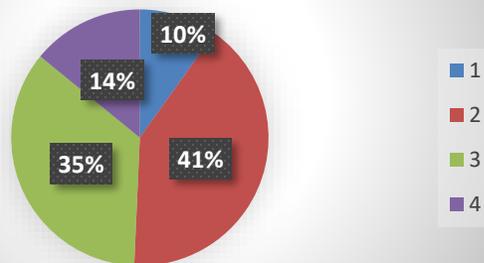
2年地理(5月)



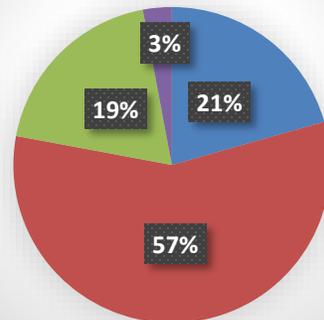
2年地理(12月)



3年地理(5月)



3年地理(12月)



現代社会の諸課題  
について考えた  
生徒の割合増加

# 生徒アンケートの変容(地理)



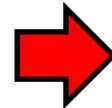
選択した科目は将来役に立つと思いますか？

1 よくあてはまる

2 あてはまる

3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない



将来とのつながりをさらに意識するように

# 生徒アンケート(3年12月)



主体的で対話的な学びはできましたか？

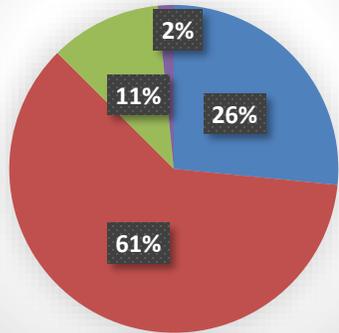
1 よくあてはまる

2 あてはまる

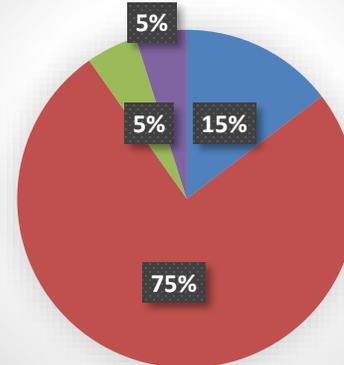
3 あまりあてはまらない

4 あてはまらない

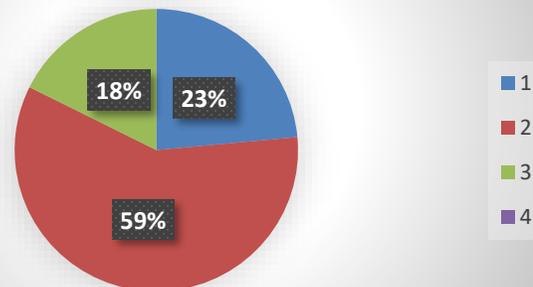
3年日本史



3年世界史



3年地理

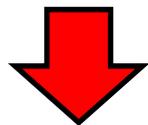


コロナ禍でも  
主体的に学べた  
生徒が約8割

# 生徒アンケートの変容(概要)



- 3年歴史, 2・3年地理で肯定的意見が増加
- コロナ禍でも主体的で対話的な取組ができたと感じる生徒が3年生ではどの科目も8割程度
  - 実践の中心である「世界史A」「日本史A」を3年生で実施しているから?
- 2年歴史で否定的な意見が増加
  - 資料読み取りの難しさを実感?
- 肯定的な意見が増加した項目も十分な成果とはいえない



継続した取組が必要

## I 本校の概要

- 1 本校の紹介
- 2 これまでの流れ

## II 本校における教育課程研究指定校事業

- 1 研究テーマ及び研究仮説
- 2 1期目(2年間の成果と課題)
- 3 今年度(第2期1年目)の取組
  - (1)「歴史総合」に向けた取組
  - (2)「地理総合」に向けた取組

## III 課題と今後の取組



# 今年度の課題(全体①)



- ① 単元構想, 評価規準の策定, 教材作り, 資料選びに非常に多くの時間を要した  
→ 地歴科のチームワークが必要
- ② 明確なビジョンを持たないと生徒はついてこない  
→ 目指す生徒像, 分かりやすい問いの構造化など
- ③ 観点別評価を意識した評価規準を設けられていない  
→ 学期前や考査前などに事前の協議や準備が必要

## ④科目相互の見方・考え方の意識付け

→一貫した授業作りを行うことで生徒の  
資質・能力は向上

## ⑤学校や生徒の実情に応じた教材作り

→地理・歴史の教員が相互に授業を行ったり,  
チームティーチングで授業を行うことも有効

## ①他教科や他機関との連携を一層進める

→教員自身が多様な見方・考え方を身に付けたうえで、授業を受ける生徒の実態に合わせて教材を選択できれば、生徒の興味や理解が一層進むことが期待できる

## ②観点別評価の理解を一層進める

→当面は中学校の観点別評価を参考にして評価規準の検討を進め、指導と評価の一体化による授業改善に役立てる